

様似郷土館だより

— 2026年1月号 Vol.22 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

あけましておめでとうございます！2026年は午年です♪日高地方は馬との関係が深い土地であり、様似郷土館にも馬に関連した収蔵資料がたくさんあります。農耕馬、軽種馬、馬用草鞋、競馬、馬頭観音、馬の名前の付く昆虫など。2026年1発目の企画展は「馬」の展示で準備を進めていますので、企画展をお楽しみに。

2025年の4～12月の来館者数が815名でした。直近20年の年間最多入場者数は令和6年度の806名のため、記録更新中です。令和8年度は1000人越えを目標とします。2025年には「魅惑のチョウ展」、「カンカン講座展」、「夏休み昆虫展」、「蝦夷三官寺展」と4つの企画展を開催しました。夏休み昆虫展では1199人の来場があり、今年多くの方々に楽しんでいただける展示会、講座、講演を実施していきます！

年末年始は実家のある東京に帰省し、そこから岐阜の飛騨高山へ行き、合掌造りなどを見ました。世界遺産で有名なため、約8割は海外からの観光客でにぎわっていました。2026年も色々な地域に訪れて、地域の自然や歴史を堪能したいです！



カンカン講座 12月 「長わらで作る本格しめ飾り体験」

【報告】

12月13日(土)に様似郷土館担当のカンカン講座を実施しました。計13名で年末年始に飾るしめ飾りを長藁で作成しました。昨年度の紙製しめ飾りよりも難易度は上がりましたが、参加者は立派なしめ飾りを完成させていました。

しめ飾りの意味、地域性、作成に使用した縄縫え機や押切りなどの収蔵資料も紹介しました。加藤学芸員からは様似の稲作、畠、長藁の解説があり、図書館からはしめ飾りや正月料理の本を展示していただきました。



令和7年度の様似郷土館の担当会は、「エンルム海岸の生きもの探し」「昆虫ジオラマ標本づくり」「しめ飾り体験」の計3回で終了しました。カンカン講座では2月には講演会1件、科学実験1件。3月に工作を1件予定しています。ぜひ、お時間のある方はご参加ください♪

昆虫紹介 「マグソコガネ」

午年に関連して馬の名前を冠す昆虫をご紹介。漢字で書くと馬糞黄金。糞虫の仲間で動物のうんちを食べます。夜間に光によく集まるため、牧場や草原の近くの街灯でよく見られます。様似町では田代の生活館の街灯に夏はよく飛来していました。体長は6mm前後で、数は多いです。道内には34種ほどが生息し、鹿、熊、キツネなどの野生動物や家畜の糞に集まります。小さくてかわいらしいですが、うんちを食べる虫のため、触つたら手洗いをしましょう！



2026年1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1 年始	2 年始	3 年始
4 年始	5 年始	6	7	8	9	10
11	12 祝	13 休館日	14	15	16	17
18	19 休館日	20	21	22	23	24
25	26 休館日	27	28	29	30	31

10:00～16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

ジオ学習 冬の昆虫観察会

【事業報告】

【月 日】 12月3日(水)、5日(金)

【場 所】 幼児センター、様似川沿い

【案 内】 榎本 尊 (様似郷土館)

【人 数】 年中13名(教員2名含む)、年長16名(教員2名含む)



【内 容】 様似川沿いで冬の越冬昆虫が探しました。年中が7種類、年長が4種類の昆虫を見つけました。当日は雪が降り、寒かったため活動中の昆虫は皆無でした。厳しい条件の中でもしっかりと昆虫を見つけたのは素晴らしいです！様似川沿いでは近年オオカマキリが定着しており、その個体数も年々増えています。今回の観察会でもカマキリの卵嚢を年中が5個、年長が14個発見しました。昨年は私が1つ発見したのみでしたが、今年は急増しています。越冬率などの調査のため、採取した卵嚢は郷土館で管理中です。卵嚢の付着時の高さ、大きさ、植物の種類などもすべて記録として残しています。カマキリ(卵でも成虫でも)を見かけましたら郷土館までお知らせください。

日高管内の学芸員部会の研修会打合せ

【会議報告】

【月 日】 12月4日(木)

【場 所】 新ひだか町博物館

【人 数】 3人

【内 容】 日高管内の社会教育職員協議会の中の学芸員部会の研修会の打ち合わせを実施しました。今年度は様似郷土館の榎本が部会長を勤め、研修会は新ひだか町博物館のミュージアムトークと共に催すこととなりました。3月20日(祝)、21日(土)に新ひだか町博物館にて管内の学芸員による講演会を実施予定です。日高の各町の学芸員の研究成果や博物館活動の報告を実施予定です。詳細が決まりましたら、町HPや郷土館だよりも周知しますのでぜひ、ご参加ください！

12月 町議会に係る対応

【議会対応】

【日 時】 12月15日(月)

【場 所】 町議会

【質 問】 水野議員「アポイ岳に成育している蝶“ヒメチャマダラセセリ”や、寄贈された蝶の役割や啓蒙活動について」

【内 容】 国内では様似町でのみ生息しているヒメチャマダラセセリや昨年帯広市の大和与三記念館から寄贈のあったチョウコレクションに関する質問を受けました。児玉館長および榎本学芸員より回答しました。大和コレクションには道内で記録のあるチョウの88%の種が含まれており、本州や海外の蝶もあります。2025年3月には企画展で資料の一部を展示し、多くの町民に見ていただきました。今後の郷土館の企画展での利活用も実施していきます。コレクションは計209箱、13824個体のチョウ標本からなります。様似郷土館にすべての標本を収蔵していますので、ぜひ見学しに来てください♪

【資料寄贈】

寄贈

- ・12月12日(金) 凪の法被など 21点 南様より寄贈
- ・12月12日(金) 切手コレクションなどの確認 羽立様より連絡
- ・12月23日(火) 岡野知十 関係資料 9点 田中様より寄贈
- ・ 1月 7日(水) 馬の置物 1点 岡様より寄贈



資料寄贈がありました。様似町で長年凪作りをしている南様より凪の会の法被などを寄贈していただきました。元様似郷土館職員の羽立様からは収集した切手コレクションの寄贈連絡があつたため内容確認を実施しました。来年度、受け入れスペースが確保出来次第、収蔵します。田中様からは閉館した三平皿の館のあった岡野知十氏の短歌や掛軸を寄贈いただきました。岡様からは午年に因んだ馬の置物を寄贈していただきました。郷土館では古い写真、地図、用具類を収集しています。